

令和4年度 議会運営委員会 行政視察報告書

I 調査期間

2022年（令和4年）11月8日（火）～11月9日（水）

II 視察都市及び視察事項

期 日	視察都市	視察事項
11月8日（火）	宮崎県 日向市	・議会運営委員会における陳情処理手続きについて ・議場及びインターネット中継における字幕表示について
11月9日（水）	宮崎県 延岡市	・政策提言議員協議会について

III 視察者

井上 裕介（委員長）	清水 竜太郎（副委員長）
柳沢 潤次	桜井 直人
谷津 英美	松長 由美絵
甘粕 和彦	武藤 正人
竹村 雅夫	神村 健太郎
佐賀 和樹（議長）	大矢 徹（副議長）

IV 視察事項の概要

IV－I. 日向市「議会運営委員会における陳情処理手続きについて」

「議場及びインターネット中継における字幕表示について」

（1）人口及び面積 人口58,357人 面積336.89km²

（2）令和4年度一般会計予算 298.9億円

（3）視察事項の事業概要

1）議会運営委員会における陳情処理手続きについて

藤沢市議会では基本的にすべての請願及び陳情を受け入れ、議会事務局の判断のもと各委員会に振り分け、それを会期を決める議会運営委員会で確認して、各委員会で審査を行なっている。

しかし近年、市外からの団体名義の陳情が目立っていて、その多くが国に対する意見書を出すよう求めるものである。

藤沢市議会としてはより多くの請願と陳情をより多く審査しようという立場から審査してきたが、藤沢市のための審査を重視したい観点から取捨選択も必要なのではないかという意見もあり、日向市議会の取り組みを参考にしたいという目的がある。

日向市議会では、請願については紹介議員もいることから良識に基づいて基本的にそのまま審査しているが、陳情については会議規則のほかに申し合わせ決定事項及び先例集に沿って議会事務局ではなく、議会運営委員会が陳情を審査にかけるかどうかをひとつずつ協議して決めている。

陳情の処理に関する取扱いは主に以下の通り。

- ▲市外からの郵送による陳情は、請願書と同じ取扱いにせず、議員への配布のみにするが、議長が必要だと認める場合は異なる。
- ▲基本的人権を否定したり、違法あるいは公序良俗に反するものは受け付けない。
- ▲誹謗中傷や名誉棄損、信用失墜につながる恐れのあるものは受け付けない。
- ▲明らかに実現性のないものは受け付けない。
- ▲1年以内に議決したものと趣旨のものは受け付けない。
- ▲趣旨や理由が明確に記されていないものは受け付けない。
- ▲議会が関与することが適当でないと認められるものは受け付けない。

議会運営委員会は、陳情を以上に照らして受け付けるか話し合い、受け付ける場合は各委員会に付託する。協議で賛否が分かれた場合でも、多数決などせずに委員会に振り分けている。なお、昨年度については6件の陳情が出されたが、そのうちの半分は受け付けなかった。

各委員会で審議された陳情は、「採択」「趣旨採択」「不採択」の3つのパターンで議決を取っている。藤沢市議会には採用されていない「趣旨採択」とは、趣旨は分かるけど実現はできそうにはないと判断されたものである。

2) 議場及びインターネット中継における字幕表示について

日向市議会が採用している「ユニバーサル・デザイン・トーク」通称「UDトーク」で、本会議や委員会で質疑や答弁などの内容が画面に文字で表示されるものである。もともと手話通訳を配置しようとしたものの、通訳者が足りなかったため、字幕を表示するアプリを使うことになったという。

視察では実際に会場である議場の画面で担当者の話す言葉を文字に変換していく様子を見ることができたが、ほぼ正確にほぼ同時に変換されていた。

導入した昨年6月の段階では誤字が目立ったため、それを改善するため議会事務局が多くの単語を登録したところ、かえって誤字が多く発生することとなった。そ



日向市議会の視察の様子、視察中の発言をリアルタイムで文字起こしし、
実際の本会議の様子が再現された

のため、登録した単語の量を減らしたところ、改善していくことができた。

アプリ自体は、ディープラーニング技術という、使えば使うほど性能が良くなる仕組みになっており、1年を経て改善が図られている。字幕のおかげで、会議録をつくる際も職員の負担を軽くすることができているということだが、6人いる事務局職員のうち2人が誤訳の修正担当として割り当てられている事情もある。

字幕の精度を上げるためには音声を正しく認識させることが大事で、そのためには発言者は、

- ▲句読点を意識し、
- ▲語尾までしっかりと、
- ▲マイクに向けて話すことが大事になる。

また固有名詞や特殊な単語については単語登録するほか、方言には弱いことを注意する必要がある。

費用については法人向けスタンダードプランを採用している。初年度は37万1800円かかったが、それ以降は31万6800円となっている。このプランを採用したのは、料金体系が安かったこともある。

議会に続いて、会話の文字化を進めるため、来年度から一階の窓口対応に文字翻訳を使うことになった。「レクリア」と呼ばれる商品で難聴者だけでなく多言語の対応が必要な外国人向けを想定している。これを受けて議会での字幕も議会の予算ではなく市長部局の予算で対応する予定となっている。

IV-Ⅱ. 延岡市「政策提言議員協議会について」

(1) 人口及び面積 人口115,249人 面積868.02km²

(2) 令和4年度一般会計予算 628.2億円

(3) 視察事項の事業概要

藤沢市議会では代表質問や一般質問および各委員会、さらに会派による個々の政策提言の申し入れなどを通じて大小さまざまな政策を提言する機会がある。しかしこうした提言が出された後、どのように扱われているのか、反映されているのかは不明確な場合が多いと言える。

延岡市議会では、これまで同じような状況で、提言内容が多岐に渡っていたほか、提言後、どう政策に反映されたのかなどフォローアップ体制も確立されなかったという。

そこで「議会の総意」としてテーマを絞った提言を行なえるよう2005年度から政策提言を行なう議員協議会を設置した。協議会の構成は会長である議長のほか、副議長、各会派の代表者で、市当局は政策の検証のときなど必要に応じて出席する。

3年間の施行の後、見直し作業を行ない、

▲各会派から幹事となる委員を増やしたほか、

▲協議会の中に幹事会という組織を設置した。

この幹事会は、テーマ設定と提言案を検討する場であり、これを受けて全体の協議会で、話し合いが行われ、決定に至る。

そのほかテーマ設定そのものも見直しが行われた。これまでは委員会の調査項目などをもとに一回目の協議会で決定していたが、会派を通してあらゆるテーマを集め、それを幹事会でとりまとめ、それを協議会で話し合っ決めてことにした。

スケジュールについてもこれまでは新年度予算に間に合うよう短期間のうちに提言案をまとめていたが、中期的な課題をテーマとしてあげることで、じっくり一年間かけて調査研究できるようになった。延岡市議会は27人の議員がいて、会派は5つあるが、会派に属さない二人の議員についても議会全体の提言である趣旨から協議内容を適宜、共有している。

1回目の協議会は6月中に開かれ、9月過ぎにテーマを決まる。

市長との意見交換会は翌年の2月過ぎにあり、提言書の提出は年度末の3月過ぎとなる。

2年目は、この提言を受けて当局の方で検討がなされ、実施する場合は2月過ぎに予算措置の説明がある。

3年目は実績について報告があるが、新しい試みとして議会の任期中のうち3年間分について協議会として検証を行なっている。



延岡市議会の視察の様子、政策提案機能の強化と議会活動の見える化の狙いがある一方、テーマ設定や提言内容の調整に時間がかかっている

担当課に対して現状など質問できるほか、評価を行なっている。

評価は、「実施済み」「実施中」「検討中」「実施予定なし」でつけているほか、今後議会として改めて要望を行うことができる。

昨年度は協議会を5回開催したほか、幹事会を8回開催している。

この18年間で行なわれた提言は、「駅のバリアフリー化」や「ICT教育に向けた環境整備の推進」、「定住促進に向けた雇用対策」、「小水力発電設備の設置促進」、「児童クラブの体制充実に向けた総合的な検討への着手」など38項目に及ぶ。

実際の提言内容のうち一例を紹介する。

多くの提言が「実施中」とされ、議会として出している政策提言の効果が発揮されているといえるが、唯一「実施の予定なし」とされたのが、スポーツ大会の誘致や熱中症対策としての「市内体育館への空調設備の整備推進」だ。当局側の理由としては体育館の老朽化が進み、床の修繕や雨漏りへの対応、そして安全対策を優先するためだとしている。

政策提言議員協議会は

- ▲政策提案の機能を強化する狙いと
- ▲議会活動の見える化を進める狙いがあったが、

課題もある。

一番大きな課題は、テーマ設定を取りまとめる幹事会の負担が大きいこと

で、逐一会派に持って帰ってやりとりしなければならないため時間がかかっている。

テーマ設定は市民からの聞き取りに始まる。

2年間かけて全11区で議会活動報告会を実施しているほか大学との意見交換会、常任委員会が関係団体などと意見交換するシティミーティングがある。

テーマ選びは2項目程度に絞っているが、3か月間かかっている。

この後は具体的な提言内容を話し合うため、これも逐一会派に持ち帰って提言内容を詰めており、提言を固めるまでの過程は一筋縄とはいかない。

以上